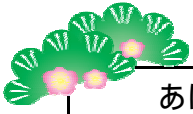


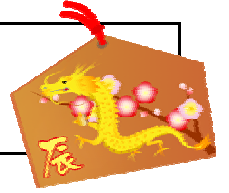


- Link “新風”

Vol.46
(通算 第139号)



あけましておめでとうございます。去年は生涯忘れることがない程
激動の年でした。日本の復興に向け、私たちも一企業として社会に
貢献していきましょう！



『あたま桜』

『今月の表紙』

あたま桜は、例年1月初旬より開花し、沖縄の寒緋桜と並んで日本列島で最も早咲きの桜です。
これは糸川遊歩道で撮ったものですが、熱海梅園や海浜公園でもキレイに咲いているようです。
河津桜より約1ヶ月も早く咲きますので、桜をフライングゲットしたい方は見に行ってもいいか
でしょうか？

撮影日時:2009年1月23日

撮影者:臼井克幸

2012年 年頭にあたり

今年は新年を迎えるに当たってどうしても昨年の3.11の東日本大震災、津波、原発事故というおぞましい出来事を思い起こさずにはられません。絶対忘れてはいけない光景が走馬燈のようによみがえってくるわけで、我々は子孫の代の安全・安心のためにこの事実を教訓として活かしていかなければと改めて強く思う次第です。

被災し、まさに地獄を見た女子中学生が、死んでしまいたいという思いから立ち直り「これから人のために何かをしたい、貢献したい」というのだそうです。このことは、明るく元気になっている子らに共通しているものだそうです。勇気づけられる言葉ではありません。うんと幸せになって欲しいと願うばかりです。

また、このような話もラジオで聞きました。「石巻の若者達が集まり街づくりに立ち上がる。おじさん達のことを聞いてやっていけば何とか過ごしていけると思って生活してきた。この災害でおじさん達がつくったものが機能しなくなった今、自分たちが新しいものを造っていかねばと考えるようになった。そう、クリエイティブだ。」今の若い者は…とされている若者達がこれから新しい時代を創っていくのだなと頼もしく感じた次第です。

若者といえば、こんな記事を目にしたことがあります。「ある官僚から、最近の若者は中国の若者と比べて覇気がない、頼りなく見えるがどうしてでしょうと問われたある評論家が曰く、それは、あなたがた官僚が既得権を手放せばいいのですよ。」おじさん達が若い芽を摘み取って取っていることも事実でしょう。含蓄のある記事でした。

毎年思うことですが、新しい年を迎えた今年は「こうするぞ」という決意をするにはもってこいの時期であります。我々の事業年度の始まりは9月であり年度計画を立てて一年間を戦っていくわけですが、それとは違った趣であります。一年の計は元旦にありという言葉は、個々人に与えられたものかもしれません。そういう意味での趣ではないかと思えます。

私は現在、静岡経済同友会東部協議会（因みに静岡県には他に静岡経済同友会、浜松経済同友会がある）の代表幹事を仰せつかっています（2012.3まで）。活動方針として、会員同士が「他社を知る・人を知る」として会社の経営方針や強み・弱みなどを語ってもらう例会を設けています。これはものすごく刺激的であり、大いに参考になります。同地域にはこんなすばらしい会社があるのかと感動します。会社だけではなくそこには人がいるわけで、まさに「我以外人は皆師」を実感します。今年の活動方針の中でもっとも力を入れていることは、「東部地域のグランドデザインを作成する」ことです。今年はその準備期間とし、次年度の一年間で作成する工程を組んでいます。グランドデザインとは、長期にわたって遂行される大規模な計画のことです。各市町は、少子高齢化、グローバル経営、円高、空洞化等々の危機感を募らせるワードで満ち溢れ、財政の悪化が懸念されています。仮に今は潤っている市町があったとしても、未来永劫続くわけではないのです。東部地域の各市町が、お互いの強みを結びつけ弱みを補完していく必要があります。そうして国内の競合地域と戦っていかなければなりません。そうすることが各地域の経済力を高めるためになるわけです。税収で賄っていくのではなく、各市町が稼いで収入を得ていく必要が絶対あるのです。ところで、こういうおもしろい言葉を時に耳にします。「浜松は“やらまいか気質”で直ぐ行動に移す。静岡は、会議、会議でなかなか進まない。東部は、“俺が、俺が”でちっとも進まない。言い得て妙という人が多いです。東部地域は、“豊たから”とか“不況でも何とか食べていける”地域だからといわれます。また、総論は賛成だが、具体的に行動に移そうとすると足を引っ張るとかもいわれます。何が当たっているのかわかりませんが、このグランドデザインを作っていこう！という各市町の意思統一ができるまでには随分とエネルギーを使ったことは事実です。また、意思統一の障害として合併というワードがちらつくことも主要因でもありましょう。既得権を手放したくないという思いがあるからです。この既得権こそが、東部地域の合併が過去に進まなかった主要因であることは間違いありません。そこで言うのですが、「グランドデザインは合併の為ではありません。我々の子孫の為に作るのです。」

今年は辰年。辰をPCで検索すると「辰(龍)は干支の中でたったひとつの想像上の動物であり、強さ・しなやかさ・健康・調和・幸運を運ぶとされています。辰はドアの上部や屋根の上に存在し、悪魔や悪霊、邪悪な心を消してくれるものと信じられています。」また、「2012年の辰の特徴は、正義感と信用である」とも書かれています。今年の辰が人々により多くの幸せを運んでくれますように。

社長 赤堀肇紀